

議題1 令和4年度ふれあいバスの運行実績について 配付資料要点

【資料1】津島市ふれあいバス 利用状況と運行負担経費について

■年間利用者数の推移

R4年度の年間利用者数は51,892人で、R3年度より5,554人増加した。また、1便当たりの乗車人数は9.9人で、R3年度より1.1人増加した。

■運行に係る市の負担額の推移

運行経費から運賃収入や広告収入を差し引いた市の負担額については、R4年度は約33,103千円で、R3年度より約1,030千円減額となった。また、乗客1人を運ぶための市の負担を表す「乗客1人当たりの市の負担額」についても、R4年度は638円でR3年度より99円減額となった。運行経費が大きく変わらない中、年間利用者数が増加したため、市の運行負担・乗客1人当たりの市の負担額ともにR3年度を下回った。

【資料2】令和4年度 津島市ふれあいバス乗車記録表

■記録表

免許返納促進の一環としてH30.6より返納者に対し配布している無料乗車券について、R4年度の利用枚数は511枚で、R3年度より154枚増加した。また、年間の運賃収入について、R4年度は約4,752千円で、R3年度より約532千円増収となった。子どもの利用者も増加しており、R3年度と比較して107人増の881人となった。

R4年度より、選挙の期日前投票のためにバスを利用された方に対しても、無料乗車券の配布を開始し、R4年度の利用枚数は51枚であった。

■参考比較用

コース別利用者数を見ると、全コースで、利用者、1日平均乗車数、1便当たり平均乗車数すべてがR3年度より増加した。

【資料3】令和4年度 津島市ふれあいバス停留所別乗降者数

■全コース共通

コース全体を通して、津島市民病院・ヨシヅヤ本店・津島駅の3停留所の乗降者数が例年と同様に多く、3停留所でR4年度における全体の乗降者数の約54.5%を占めた。

そのうち、津島駅・ヨシヅヤ本店の停留所の乗降者数の合計はR3年度より増加している一方、津島市民病院の乗降者数の合計はR3年度より減少している。

■B・C・Dコース共通

往路のヨシヅヤ本店停留所については乗車する利用者の数が多く、復路のヨシヅヤ本店停留所については降車する利用者の数が多い。従って、ヨシヅヤ本店の利用客が往復ともに同じコースを利用していることが想定される。

■各コース

・Aコース

乗り継ぎのため津島駅停留所で降車する利用者が多く、ヨシヅヤ津島北テラス店の最寄りのろうきん津島・津島市総合保健福祉センター・津島市立図書館停留所等、各施設から近い停留所は一定の利用者がいる。また、津島市民病院・津島郵便局・津島神社南・本町5丁目停留所では乗車数・降車数ともに減少している。

・Bコース

R3年度に引き続き、永和駅停留所の乗降者数が多く、永和駅近辺の停留所の乗降者数も多い傾向にある。また、津島市民病院(行)・唐臼北(行)・下春日台(行)停留所では、乗車数・降車数ともに減少している。さらに、神島田祖父母の家停留所は行きの降車数及び戻りの乗車数が著しく減少している。

・Cコース

R3年度に引き続き、名鉄津島線青塚駅近辺の停留所の乗降者数が多い傾向にある。また、津島市民病院(行)・津島東高校・百島幼稚園東停留所では、乗車数・降車数ともに減少している。

・Dコース

R3年度に引き続き、市の中心から比較的遠方の金柳町停留所での乗降者数と、神守支所北停留所において乗車する利用者が多かった。

また、みどり台・白浜町・金柳町停留所では、乗車数・降車数ともに減少している。

【資料4】津島市ふれあいバス 利用者数の年度間比較

■全体

R4年度とR1年度の月別利用者数の推移は類似しており、R4年度はR2・R3年度とは異なる推移をしていた。2月～3月を比較すると、R1年度とR2・R3・R4年度では異なる推移をしている。R4年度は、2・3月を除き、月ごとに大幅な増減は見受けられない。

■R4年度とR3年度の利用者数比較

R3年度と比較して、すべての月でR4年度の利用者数は増加している。月ごとに見ると、5・8・9・2月のように著しく伸びている月もあれば、7・12・3月のように伸び幅が小さい月もある。

【資料5】津島おでかけタクシー 利用状況

■利用実績推移

利用登録者数は、対象者の5人に1人程度、利用実績は、R5.1の利用開始以降、右肩上がりが増えてきている。